

形式：対面セミナー

補足： 配信はありません。会場にお越しの上、ご受講ください（会場が未定の場合は、お手数ですが、Web ページでご確認ください）

ジャンル：食品

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 6 1 7 t 1

規格・基準にかけられているから絶対にまもらないといけないといった硬直した運用では実効性のある監査は成立しません。その会社の特殊性を大いに加味したものであるべきなのは言うまでもなく監査そのものの PDCA をいかに回していくのかは真剣に議論されるべきものです。本講座では監査の観点を明確にし、事例を交えて解説しますので現在の監査様式に課題を抱えている企業の方はご参加ください。終了後に個別の相談も受け付けます。

## 小売業のサプライヤー監査・内部監査の現状とポイント

- 日程：2025年6月17日(火)10:30~16:30(休憩1時間)
- 会場：関西大学東京センター（東京駅直結）
- 受講料：39,600円(税込/テキスト付)※①②どちらかみの受講の場合は各27,500円（税込）

■ 一般社団法人食品品質プロフェッショナルズの代表経歴：1979年ネスレ日本入社飲料製造、飲料開発を経験、1999年アメリカにある研究所で飲料の官能品質の改善・向上をテーマにする、2001年シンガポールの研究所で官能品質を維持しながらの熱殺菌達成を模索する、2010年日本に戻り、原材料・包材サプライヤー、OEM拠点監査。付随する官能品質上の問題解決に当たる、2016年(一社)食品品質プロフェッショナルズを設立、食品業界の問題解決の支援に当たる。現在関西大学において食のリスクマネジメント、食品と飲料のマーケティングの講師を担当。

**講義概要：**今までの内部監査研修では規格にかけられている要求事項を一字一句たどり難解な文章の意味するところの解釈の提供、具体的にはどのような事象をいふかの例示程度にとどまり、規格にかけられていることはすべて正しくそれに沿えないことはすべてが不適合といったがんじがらめの自由度のない内容であることが多かった。今回は小売業に長く勤めそこでの食品安全マネジメントシステム内部監査に責任を持つ石井あきこ氏がやはり小売業独自の内部監査様式を模索するべきであること、各事業所の特殊性に合わせて監査内容を変更していくべきことを明確にする。小売業特にその総菜部門ではかかわる従業員の数も膨大であり、またインスタ加工がセントラルキッチンつまり工場での加工かによってもリスクには大きな差異がでてくる。こういった動的ともいえる要素を加味しながら内部監査をくみ上げていくことこそ望ましい姿であることこの理解を提供する。

サプライヤー監査研修はネスレ日本（株）時代に200社以上の監査を行いその経験のなかから調達のための監査は商品のCCPがどこにあるかによって変化させるべきという持論を打ち立てた広田鉄磨氏が担当する。従来の小売業によるサプライヤー監査は自社の調達基準に準拠したまではよかったが長年の運用の中で起きたトラブル、他社が経験したトラブルなどをどんどん付け加えて肥大化してしまっている。果てにはいつだれがどのような理由で付け加えたかわからなくなってしまった基準を唯々諸々と守り続けているといった形骸化にも甚だしいものがみられる。今回の講義では原点に戻り小売業によるサプライヤー監査ではどのような観点が必須であってどのような観点は不要なのかを明確に区別していく。

プログラム（詳細はWebページでご確認ください。）

① **内部監査編：（10:30～13:00）** 講師：一般社団法人食品品質プロフェッショナルズ 石井あき子 氏

1. 内部監査の基本
2. 内部監査の実施
3. 不適合について
4. 監査計画の立案
5. 是正処置とフォローアップ

② **外部監査編：（14:00～16:30）** 講師：一般社団法人食品品質プロフェッショナルズ 代表理事 広田鉄磨 氏

1. サプライヤー監査のこれまで
2. サプライヤー監査のこれから
  - ・監査依頼元に必要なHACCPに準拠したロジカルシンキング
  - ・サプライヤー自身が構築したHACCPの評価
  - ・HACCP構築の支援の必要性
3. 監査員に求められる資質

<講師の言葉>

規格・基準にかけられているから絶対にまもらないといけないといった硬直した運用では実効性のある監査は成立しません。その会社・その事業所の特殊性を大いに加味したものであるべきなのは言うまでもなく 監査そのものの PDCA をいかに回していくのかは 真剣に議論されるべきものです。内部監査においては 本年度の不適合は 昨年よりいくつ少なくなったといったお手盛りの評価が横行していることが多く、サプライヤー監査では逆に監査員が 不適合を数だけ多く提示して いかにも自分は仕事をしてきたという証拠としていることの方が多くはないでしょうか。不適合というのは 内部監査であれば 自社のビジネスの発展に寄与するものでなければならず、寄与するのであればその数の増減は何ら意味を持ちません。サプライヤー監査であれば 是正措置はサプライヤーの身の丈に合った実行可能なものであって 最終的にはサプライヤーのビジネスにも寄与するものでなければなりません。

## <お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

<b>申込講座</b>	2025/6/17	小売業のサプライヤー監査・内部監査の現状とポイント		
<b>会社名※</b>				
<b>所在地※</b> <small>（請求書等の送付先）</small>	〒			
<b>参加者①</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>	
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>	
			<b>役職</b>	
	<b>Email※</b>		@	
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
<b>参加者②</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>	
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>	
			<b>役職</b>	
	<b>Email※</b>		@	
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
<b>支払方法※</b>	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
<b>支払予定日※</b>	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
<b>備考※</b>				

### お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： <a href="mailto:entry@tech-d.jp">entry@tech-d.jp</a> メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	<a href="https://tech-d.jp/">https://tech-d.jp/</a> の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

#### <注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

### お支払について

#### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

#### <方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

#### 【お振込先】

<b>振込先銀行</b>	三井住友銀行
<b>支店</b>	多摩センター支店（909）
<b>口座番号</b>	（普） 0 9 7 3 5 2 2
<b>名義</b>	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	<b>名称</b>	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	<b>住所</b>	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	<b>電話</b>	03-6261-7920	<b>FAX</b>	03-6261-7924
	<b>E-mail</b>	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		